

天龍村を歩いて知ろう

平岡を知る豆知識

天龍村平岡は徳川時代から大正末まで天竜川を利用した「通運」の歴史がありました。天竜川の流れに乗って、豪快なさばきで筏が下り、積荷や人を乗せた舟が下ってきました。多いときで船頭や筏乗りが200人もいたときがあり、平岡はまさに川の港として賑わったのです。「浜背負（はましよい）」といわれた男勝りな女たちは舟が着くたびに坂を上り下りして荷物を運搬し、よく働きました。平岡はこのころ満島といっていました。一帯を統治していた遠山氏の西の砦として満島城が築かれ、大坂方の落人や荷物を取り締まる満島番所が築されましたが、徳川政権になってからは川に一層の重さが置かれたのです。その後昭和に入り平岡ダムが完成されてから大きな変貌を遂げていきます。

皆様方には、ここでの時間を有意義にお過ごしいただくよう、歴史の一端をウォーキングコースとして紹介いたします。天龍村は県南の地であり長野県で一番早くに桜が咲き南国の風情もあります。四季の移ろいや村人との触れ合いを、あなたの旅の思い出に…



車で楽しむ

Route

史跡折立長老の墓及び碑コース 30分
平岡駅—名勝奇橋(清水橋)—史跡折立長老の墓及び碑—平岡駅

名勝信濃恋しコース 1時間30分
平岡駅—平岡ダム(名勝熊伏山の秋月)—大蛇ミニパーク—名勝信濃恋し—平岡駅

名勝浄心の瀧と中井侍の三十三所観音コース 2時間
平岡駅—名勝浄心の瀧—名勝勝負ヶ瀧—断層—名勝弁天岩—中井侍の三十三所観音—平岡駅

① 史跡折立長老(おりたちちょうろう)の墓及び碑

徳川時代、この地を統治していた遠山氏の悪政により領民は苦しんでいた。折立地区の浄林寺住職で元武士であった長老が、村人を代表して幕府に窮状を訴え出た。それを知った遠山氏は長老を残虐な方法で死刑にした。長老300年忌を機にこの出来事を風化させないよう墓と記念碑を建立した。



② 名勝熊伏山の秋月

平岡ダムから真正面を見ると熊伏山(1653m)が聳えたつ。ここからの中秋の名月は風情がある。平岡ダムの傍らに、「在日殉難中国烈士永垂不朽」の慰霊碑がある。平岡ダム建設に従事した中国人殉難者への慰霊と日中両国民の不戦の誓いが記されている。

③ 名勝信濃恋し

ダムが出来る前、天竜川の流れはここ

でいったん信濃が恋しいとばかりに流れを上流に押し戻し、そして下流へと流れた。



④ 名勝浄心の瀧

滝の横に不動尊がまつられている。眼病を患う人が訪れる。かつては、この倍の落差を誇っていた。

⑤ 名勝勝負ヶ瀧

筏師が勝負に挑む激流地点であったところ。

⑥ 断層

遠山断層の端にあたり、美しい断面を見ることができ全国的にも珍しい。

⑦ 名勝弁天岩

天竜川の急流の中に立つ大岩には弁天様と水神様がまつられていて安全祈願のため毎年お祭りが行われていた。



⑧ 三十三所観音

一面の岩を削った棚に仏像が整然と並ぶ。開眼の言い伝えが残る。春秋の彼岸にこの前庭で百万遍の数珠回しが行われる。

JR飯田線平岡駅の時刻表

上り 豊橋行き				下り 天竜峡・飯田行き			
	6:49		15:40		6:23		13:31
快速	7:35	特急	16:43		7:03		16:43
	8:25		17:35		7:49		17:35
	10:19		19:26		8:38		19:26
特急	10:45		20:27		11:25	特急	20:07
	13:19			特急	11:54		21:54

(平成21年3月14日改正)

発行 天龍村教育委員会

長野県下伊那郡天龍村平岡1234-1

電話.0260-32-3206

FAX.0260-32-1010

E-mail g-kyoiku@vill-tenryu.jp

旅の思い出をお寄せください。

天龍村文化財コースマップ

